

5 年齢別常用求人・求職・就職状況

常用（含パート）

元年6月

	新規求人数		月間有効求人数		新規求職 申込件数	月間有効 求職者数	就職件数	新規求人倍率		有効求人倍率	
	就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等				就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等
	積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式				積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式
年齢計	68,284	68,284	208,527	208,527	27,624	137,765	7,882	2.47	2.47	1.51	1.51
19歳以下	945	6,848	2,986	20,841	337	1,705	129	2.80	20.32	1.75	12.22
20～24歳	7,253	7,577	20,276	23,237	2,725	11,597	545	2.66	2.78	1.75	2.00
25～29歳	9,628	7,526	28,966	23,088	3,576	16,584	739	2.69	2.10	1.75	1.39
30～34歳	7,852	7,280	24,108	22,298	2,897	14,029	676	2.71	2.51	1.72	1.59
35～39歳	6,150	6,681	19,475	20,302	2,309	11,818	655	2.66	2.89	1.65	1.72
40～44歳	6,275	6,146	19,445	18,769	2,576	12,890	883	2.44	2.39	1.51	1.46
45～49歳	6,794	5,742	21,416	17,617	3,019	15,321	1,039	2.25	1.90	1.40	1.15
50～54歳	6,106	5,674	19,063	17,407	2,768	13,963	935	2.21	2.05	1.37	1.25
55～59歳	5,150	5,671	16,036	17,395	2,267	11,580	744	2.27	2.50	1.38	1.50
60～64歳	4,722	4,824	14,952	14,589	2,111	11,682	714	2.24	2.29	1.28	1.25
65歳以上	7,409	4,315	21,804	12,984	3,039	16,596	823	2.44	1.42	1.31	0.78

年齢計	68,284	68,284	208,527	208,527	27,624	137,765	7,882	2.47	2.47	1.51	1.51
24歳以下	8,198	14,425	23,262	44,078	3,062	13,302	674	2.68	4.71	1.75	3.31
25～34歳	17,480	14,806	53,074	45,386	6,473	30,613	1,415	2.70	2.29	1.73	1.48
35～44歳	12,425	12,827	38,920	39,071	4,885	24,708	1,538	2.54	2.63	1.58	1.58
45～54歳	12,900	11,416	40,479	35,024	5,787	29,284	1,974	2.23	1.97	1.38	1.20
55歳以上	17,281	14,810	52,792	44,968	7,417	39,858	2,281	2.33	2.00	1.32	1.13

年齢計	68,284	68,284	208,527	208,527	27,624	137,765	7,882	2.47	2.47	1.51	1.51
44歳以下	38,103	42,058	115,256	128,535	14,420	68,623	3,627	2.64	2.92	1.68	1.87
45歳以上	30,181	26,226	93,271	79,992	13,204	69,142	4,255	2.29	1.99	1.35	1.16

（注） 年齢別の求人倍率及び求人数は、次の2つの方法により集計を行っている。

「就職機会積み上げ方式」

個々の求人について、求人数を対象となる年齢階級〔5歳刻みの11階級〕の総月間有効求職者数で除して当該求人に係る求職者1人当たりの就職機会を算定し、全有効求人についてこの就職機会を足し上げることにより、年齢別有効求人倍率を算出する。年齢別月間有効求職者数は、年齢別有効求人倍率に年齢別月間有効求職者数を乗じて算出する。なお、新規求人倍率及び新規求人数も同様の方法により算出する。（この際、月間有効求職者数の代わりに、新規求職申込件数を用いる。）

平成18年7月分より公表。

「求人数均等配分方式」

求人の対象年齢の種類（対象年齢がどの年齢階級〔5歳刻みの11階級〕にまたがるかにより66通りに分類）ごとに、求人数を対象年齢に相当する各年齢階級に均等に配分して、年齢別の月間有効求人数を算出し、これを年齢別の月間有効求職者数で除して、年齢別有効求人倍率を算出する。新規求人倍率及び新規求人数についても同様の方法により算出する。